



本格展開から10年

セカンドステージを迎えたITSプロジェクトの全貌を解明!!

# 自動車メーカーのITS開発と車載システム採用動向

## <2015・2025年の普及予測調査>

好評受付中!

2006年1月23日発行

体 裁 : A4判 / 382頁  
定 価 : 102,900円  
(価格は税込、送料込み)

株式会社 **アイールシー**

本 社 : 〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225  
I R C 東京 : 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町7 TEL 03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

<http://www.eIRC.co.jp> でも調査資料の詳細がご覧いただけます。

### 発刊にあたり

ITS(高度道路交通システム)とは、最新のエレクトロニクス技術、情報通信技術などによってクルマの機能を高度化するとともに、人と道路と車をつなぐことで、交通事故や渋滞、環境汚染といった社会問題の解決を目的に構築する新しい交通システムである。現在、これらシステムの実用化や普及によって、国内ITSプロジェクトはセカンドステージを迎えており、社会での本格展開を目指すべく、その実現に向けた基盤作りが新たにスタートしています。

今回発刊する「自動車メーカーのITS開発と車載システム採用動向」<2015・2025年の普及予測調査>では、世界的にみても目覚ましい成果を上げてきている国内ITSプロジェクトの進捗状況や自動車関連メーカーの取り組み、海外でのITS開発動向について明らかにします。また、社会に定着しはじめた自律系及び通信系対応システムを取り上げ、その現状とを詳報するとともに、今後の普及についても展望しています。貴社にて是非ご利用いただけますようお願い申し上げます。

第 - 3表 トヨタ自動車のITS車載システム採用状況(通信関連装置)

全車載機	車 設 定	部 設 定	オ プ シ ョ ン 設 定
クラウンマジェスタ、GS430/350、IS350/250	クラウンロイヤル/アスリート	クラウンロイヤル/アスリート、マークX、マークブリット、ウィッシュ、ヴィッツ、ラクティス、ベルタ、アルファード、同ハイブリッド、アイシス	

全車載機	車 設 定	部 設 定	オ プ シ ョ ン 設 定
センチュリー、クラウンマジェスタ、GS430/350、SC430、IS350/250	クラウンロイヤル/アスリート、同エーステート、ウィングダム、カムリ、アベンシス、アルファードハイブリッド、クルーガーハイブリッド	セルシオ、クラウンロイヤル/アスリート、同エーステート、プレビス、マークX、マークブリット、カムリ、ベンシス、カルディア、プリウスレミオ、アリオン、ウィッシュ、ラ、同フィルダー/ランクス、パシオ、アレックス、ラウム、シ	

第 - 2表 E S C (横滑り防止装置)の構成部品担当メーカー

部品名	ブ レ ー キ	E C U	ヨーレイトセンサ	ブ レ ー キ 圧 力
採用メーカー	アクチュエーター	アドヴィックス	デンソー	デンソー
トヨタ自動車	アドヴィックス	アドヴィックス	松下電器産業	デンソー
日産自動車	ポツシユ	ポツシユ	ポツシユ	ポツシユ
	日立製作所	日立製作所	日立製作所	長野計器

第動 - 15表 その他メーカーのITS対応状況(1)

メーカー名	開発分野	対応システム	開発・実用化製品	動向・その他
アイシン・エイ・ダブリュ	ナビゲーションシステム	ナビゲーションシステム	・サイドモニター/リアビューカメラ付カーナビゲーションシステム	
日産自動車	ナビゲーションシステムの高度化	ナビゲーションシステム	・ナビゲーションシステム	トヨタ自動車のライン純正用などを生産し、納入。
日産自動車	安全システム	安全システム	・VICIS対応カーナビゲーションシステム ・テレマティクス対応カーナビゲーションシステム ・ナビゲーションシステム	トヨタ自動車のマークX、プレビス、プログレ、マークブリット、セルシオ、クラウンマジェスタ/アスリート/ロイヤル、ノア/ヴォクシー、アイシス、RAV4など向けに納入。
日産自動車	安全システム	安全システム	・駐車アシストシステム用ECU ・インテリジェントパーキングアシスト用ECU	トヨタ自動車、ダイハツ、マツダ、タイムラークライスラに納入。 駐車アシストシステムの発展型システムで、ドライバーのステアリング操作を不要とした。現在、トヨタ自動車のプリウス、マークXに納入。
日産自動車	安全システム	安全システム	・車両周辺監視装置システム用ECU ・周辺モニターカメラ ・フロント&サイドモニター ・リアビューレンジャーアシストシステム用ECU	トヨタ自動車のアルファードなどに納入。
日産自動車	安全システム	安全システム	・交差点障害物検知システム用ECU ・車々間通信システム ・車間情報収集システム用通信端末	
日産自動車	安全システム	安全システム	・ESCシステム	ECU、アクチュエーターを生産、ま

### 株式会社 (株) アイールシー (CO.,LTD.)

本社	東京都 区 千 105 - 電 03 -
【資本金】	678億7,700万円
【代表者】	【従業員総数】 5,389名
【取引銀行】	みずほコーポレート銀行、三井住友銀行、みずほ信託銀行、農林中央金庫
【主要製品】	電子通信装置(交換機・電話機、伝送・無線機他)、情報処理装置(自動車用電子機器、高度道路交通システム、データ機器、測器・制御機)、電子デバイス(集積回路、電子部品)、その他(その他機器商品、工事・保守・サービス)
【構成比】	情報49%、通信20%、電子デバイス22%、その他9%
【業 績】	2005年 3月期 = 439,355 百万円(経 8,288百万円) 経率(1.9%) 2006年 3月期 = 460,000 百万円(経 10,000百万円) 経率(2.2%) 見込
【主要取引先】	(納入先) ホンダ、NTT、日本電素工業、日本ユニシス、三菱商事、マクニカ、日本テレコム、東日本電信電話 (仕入先) 沖電気コミュニケーションズ、沖ソフトウェア、宮崎沖電気、沖電気カスタマードテック
【担当部署】	交通システム事業部ITS市場開発室
ITSへの取り組み	(対応製品) 車載システム - カーナビゲーションシステム用LSI、車両位置情報システム用GPS車載端末、車々間動画伝送システム(開発中) インフラ関連 - VICIS用電波ビーコン、通信制御装置、ETC、道路情報提供、AHS、駐車場管理、歩行者支援システム用関連機器、ITS自動決済システム用DSRC応用システム

《内容見本》「自動車メーカーのITS開発と車載システム採用動向 <2015・2025年の普及予測調査>」より

[ 目 次 ]

第 部 I T S の概要と国内外での取り組み

第 章 I T S の概要

第 章 日本における I T S の取り組み

- 1 取り組み経緯と推進体制
- 2 プロジェクトの全容と進捗状況
- 3 展開計画

第 章 海外における I T S の取り組み

- 1 米国における取り組み
- 2 欧州における取り組み
- 3 アジア、オセアニアにおける取り組み

第 部 自動車メーカーにおける I T S への取り組み

第 章 トヨタ自動車の I T S 開発と対応車載システムの採用状況

- 1 研究開発体制
- 2 I T S 開発の現状
- 3 対応車載システムの採用状況

(以下、各項同じ)

第 章 日産自動車の I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 ホンダの I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 三菱自動車の I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 マツダの I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 スズキの I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 ダイハツの I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 富士重工の I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 いすゞ自動車の I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 日野自動車の I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 日産ディーゼルの I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 三菱ふそうトラック・バスの I T S 開発と対応車載システムの採用状況

第 章 主要関連メーカーにおける I T S 対応状況

- 1 デンソーグループにおける I T S 対応状況
- 2 松下電器グループにおける I T S 対応状況
- 3 日立製作所グループにおける I T S 対応状況
- 4 三菱電機における I T S 対応状況
- 5 東芝における I T S 対応状況
- 6 住友電気工業グループにおける I T S 対応状況
- 7 N E C グループにおける I T S 対応状況
- 8 富士通グループにおける I T S 対応状況
- 9 その他メーカーにおける I T S 対応状況
- 10 I T S 対応メーカーの会社概要

第 部 自律系 I T S システムの実用化状況と参入メーカー

第 章 運転負荷軽減システム

- 1 車間距離自動制御システム
- 2 車線維持・逸脱警報システム

第 章 事故回避制御システム

- 1 E S C (横滑り防止装置)

第 部では、運転付加軽減、事故回避制御、認知支援、危険警報・警告など各システムの概要、実用化状況を詳報しています。さらに、各システムの自動車メーカー別採用状況のほか、構成部品の調達先も明らかにしております。

第 部では、通信系 I T S システムとして V I C S、E T C、A H S、テレマティクスを取り上げ、現状をまとめるとともに、主要メーカーの取り組みを掲載しております。

第 部では、第 部で取り上げた自立系 I T S 車載システムにおける 2005 年の採用状況に加え、弊社が独自取材などで得たデータを踏まえ、各システムの将来的な普及動向を解説しております。

- 2 電子制御ブレーキシステム(E C B)、V D I M
- 3 ナビ協調シフト制御システム

第 章 認知支援システム

- 1 A F S (アダプティブ・フロント・ライティング・システム)
- 2 ナイトビジョン

第 章 危険警報・警告システム

- 1 タイヤ空気圧警報装置
- 2 居眠り運転警報装置

第 章 ブリクラッシュセーフティシステム

- 1 衝突軽減ブレーキシステム
- 2 緊急ブレーキ連動型シートベルトプリテンショナー

第 章 操作支援システム

- 1 音声ガイダンス付き駐車アシストシステム
- 2 インテリジェントパーキングアシストシステム

第 部 通信系 I T S システムの実用化状況と参入メーカー

第 章 V I C S

第 章 E T C

第 章 A H S

第 章 テレマティクス

- 1 トヨタ自動車のテレマティクスへの取り組み
- 2 日産自動車のテレマティクスへの取り組み
- 3 ホンダのテレマティクスへの取り組み
- 4 いすゞのテレマティクスへの取り組み
- 5 緊急通報システム(H E L P N E T)

第 部 I T S 対応車載システムの普及予測

第 章 車間距離自動制御システムの普及予測

第 章 車線維持・逸脱警報システムの普及予測

第 章 E S C (横滑り防止装置)の普及予測

第 章 ナビ協調シフト制御システムの普及予測

第 章 A F S の普及予測

第 章 ナイトビジョンの普及予測

第 章 タイヤ空気圧警報装置の普及予測

第 章 居眠り運転警報装置の普及予測

第 章 衝突軽減ブレーキシステムの普及予測

第 章 緊急ブレーキ連動型シートベルトプリテンショナーの普及予測

第 章 音声ガイダンス付き駐車アシストシステムの普及予測

第 部では、I T S の概要を明らかにするとともに、経緯、関連プロジェクトの進捗状況、今後の展開など国内外 I T S プロジェクトについて詳報しています。

第 部では、国内自動車メーカーにおける I T S への対応状況を詳報するとともに、主要関連メーカー91社における取り組みをまとめているほか、各社の会社概要も掲載しています。

キ リ ト リ

申 込 方 法



フリーダイヤル

FAX 0120-020-472

電話 052-451-8221(代)  
03-3255-3461(代)

フリーダイヤルFaxをご使用になれない場合は、Fax 052-451-8246 をダイヤルしてください。また、電話による受け付けも行っております。

株式会社 アイアールシー 営業部

本 社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤 4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225  
I R C 東京：〒101-0023 東京都千代田区神田松永町 7 TEL 03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

e I R C 行 オ ー ダ ー フ ォ ー ム

弊社では見計りによる販売も行っております。通信欄に必要事項をご記入ください。

自動車メーカーの I T S 開発と車載システム採用動向 <2015・2025年の普及予測調査> 定価：102,900円

発 刊：2006年1月23日 体 裁：A4判/482頁

当社の定価および予約価格（発刊までの代金前納に限る）は、消費税込、送料込み価格です。但し、海外への発送費はお客様負担となります。封筒に貼付してあります顧客ラベルで、住所・担当者変更等がございましたら、このオーダーフォームに新旧をご記入の上、ご連絡ください。

会 社 名：

住 所：〒

電 話：

F a x：

購 入 部 課：

担 当 者 (氏 名)：

印 フルネームで  
ご記入ください。役 職：

通 信 (見 計 り 希 望 な ど)：

自動車産業レポート

チェック

1ヶ月間の無料見本誌送付を希望 [ ]